

# 阿蘇温泉病院が担う役割について

阿蘇温泉病院医局長 荒尾慎治

平成31年3月7日 阿蘇地域医療構想調整会議

# 1. 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】

1) 基本理念 よりよき人間性を よりよき環境を よりよき医療・介護を

2) 基本方針

- (1) 患者様と利用者様の人格と尊厳を重んじます
- (2) 常に敬語と笑顔で対応します
- (3) 自己研鑽につとめ人間性を高めます
- (4) お互いに信頼される人間関係を構築します
- (5) 医療・介護のプロとして誇りと自覚を忘れません
- (6) 快適な療養環境の提供を目指します
- (7) 常に整理整頓を心がけ清潔を保ちます
- (8) 施設周辺の美化に取り組みます
- (9) 分かりやすい説明を行い、質の高い医療・介護を目指します
- (10) 地域の関係機関と連携し最適な医療・介護を提供します

3) 診療実績(届け出入院基本料、平均在院日数等)

急性期(42床)は10対1看護 回復期(26床)は 13対1看護 療養型(178床)は 25対1看護(20対1に移行中)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度見込
一日平均入院患者数(人)	246.6	247.3	242.8	237.1(過去3年平均)
一日平均外来患者数(人)	158	147	145.6	142(過去3年平均)
病床利用率(%)	94.9%	95.5%	93.7%	92%(過去3年平均)
平均在院日数(日)	189.9	201.0	208.5	200(過去3年平均)

# 1. 現状と課題

## 4) 阿蘇温泉病院の職員数(平成31年2月1日現在)(カッコ内数字は非常勤職員)

医師 11名(16名)、歯科医師 0名(3名)、看護師 75名(8名)、助産師4名、准看護師 45名、薬剤師 4名、診療放射線技師 4名、臨床検査技師 8名、臨床工学技師12名、診療録管理士1名、管理栄養士 5名、栄養士 0名、理学療法士 15名、作業療法士 7名、言語聴覚士 7名、音楽療法士 0名、歯科衛生士3名、歯科助手1名、医療相談員 2名、事務員 25名、社会福祉士 2名、介護福祉士 49名、その他 2名。 合計 308名

## 5) 自施設の特徴

当院は260床と阿蘇圏域では最多の病床数である。急性期を担う一般病棟では、内科系救急告示病院として年間約200件の救急車を搬入して、対応している。慢性腎不全(透析)の患者数は130名を超え救急対応が増加している。また、阿蘇唯一の緩和ケア病棟(14床)や産婦人科、皮膚科、病院歯科を設置している。非常勤医師の診療は、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、血液内科などである。急性期病床は平成29年に5床減少した。回復期は平成29年に20床から26床に増床した。療養病棟は178床が中心となるがその病床稼働率が99%を超えている。

## 6) 自施設の担う政策医療(5疾病・5事業・在宅医療)

(1)5疾病・・・がん診療は、がん検診事業と抗がん化学療法、緩和ケア病棟を展開し、緩和ケア講演会開催や見学を受け入れて、基幹病院や地域と連携している。心血管系疾患と循環器疾患は、熊本市内の基幹病院や阿蘇医療センター等と密に連携し、当院では慢性期の診療を引き継いでいる。糖尿病では、専門医は不在であるが内科医が担当しNSTが活動中である。精神科は阿蘇やまなみ病院や県内の精神科の医療機関と連携している。

(2)5事業・・・救急は、救急告示病院として年間約200件の救急車を搬入し、透析や産婦人科救急も受け入れている。災害医療では、過去の災害時にも対応し、平時においても定期的に訓練を行っている。へき地医療は認定はないが阿蘇地域に貢献中である。周産期は阿蘇圏域で唯一であり、産婦人科医2名体制となった。小児科は非常勤医が週3回診療を担当している。

(3)在宅医療・・・訪問看護、訪問診療、居宅事業所等、病院では医療保険を、同医療法人内の介護保険施設で幅広く対応している。地域包括ケア病床を20床から26床に増床した(平成29年)。在宅により対応するよう努力している。

## 2. 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

- 阿蘇医療圏で最大規模の透析センターの維持
- 阿蘇地域唯一の産婦人科病棟と緩和ケア病棟の維持・継続
- 阿蘇医療センター(急性期病院)退院後の、回復期・慢性期の患者様の受け皿として連携し機能の維持・継続
- 胎児から高齢者まで安心して生活できる医療サービスの提供

# 3. 具体的な計画

## (1-1) 今後提供する医療機能に関する事項

単位: 床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(平成35年)	2025年(平成35年)
高度急性期	0	0	0
急性期	62	56	56
回復期	20	26	26
慢性期	178	178	178
その他	0	0	0
合計	260	260	260

急性期は2017年に6床減少した(地域医療構想の方向性に合う)  
回復期(地域包括ケア病床)を在宅推進の面から6床増床した  
今後当院が担うべき地域の役割と方向性に呼応して、在宅の方向や  
病床の変更はありうるが未定である

# 3. 具体的な計画

## (1-2) 診療科の見直し

	現時点(平成30年3月)	2025年	理由・方策(人員確保策)
維持	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科、整形外科、アレルギー科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、美容皮膚科、歯科、麻酔科	耳鼻咽喉科・眼科・整形外科の常勤医を復活したいと考えている	地域でのニーズが多いが地域全体として医師不足があると思われるため
新設	なし	放射線科(非常勤) 精神科(非常勤)	ニーズは多い オンライン読影にて対応 精神科医の確保策はない
廃止	なし	なし	なし
変更・統合	なし	なし	なし

# 3. 具体的な計画

## (2) 数値目標

	現時点(平成30年2月時点)	2025年
①病床稼働率	95.7%	95~98%
②紹介率	44.6%	50%
③逆紹介率	50%	50%

### ※算定方法

①病床稼働率: 在院患者延べ人数(退院患者含む)/(病床数×日数)

②紹介率: 紹介入院件数/入院件数

③逆紹介率: 逆紹介入院件数/紹介入院件数

# 3. 具体的な計画

## (3) 数値目標の達成に向けた取り組みと課題

### ・人材確保の取り組み

- ・医師や看護・介護職員が不足しているため、待遇を改善する。
- ・労働時間を守り、ワークライフバランスをとるよう推進している。産業医が指導実施中。
- ・育児支援や育児休暇を男女関係なく推進しており、県や厚生労働省から表彰された。
- ・保育所を設置して、育児中の職員が就職しやすい環境を整えている。職員寮も整備している。
- ・障がい者雇用を促進しており、平成29年に厚生労働省から表彰された。
- ・フィリピン国籍の介護職員を雇用した。来春はベトナムから2名就職内定。社会福祉士取得を検討中。
- ・若い人材には学会活動を奨励している。
- ・研修医や医学部学生、看護実習(基礎看護や母性看護)、リハビリや栄養士の実習を受け入れて、当院及び阿蘇を広く知っていただき、次の就職につなげようとしている。

### ・外来診療科増設と地域交流

- ・耳鼻咽喉科・眼科・整形外科の常勤医や、非常勤の診療科(放射線科・精神科)を増やしたい。
- ・地域連携交流や、月例で阿蘇の保健師との情報交換会を開催し、医療と介護の地域連携を増進。

### ・課題

- ・国道57号線の開通に伴って、患者や職員が移動すると考えられる 今から準備中である
- ・診療報酬改訂や介護報酬改訂、阿蘇地域の人口減少や情勢変動が予想されるので、対応したい

## 4. 特記事項

- 阿蘇地域調整会議において当院が説明したい事項は、阿蘇温泉病院は、
  - ・病床稼働率は90%以上を維持。冬は満床となる。
  - ・阿蘇地域で唯一の産婦人科・緩和ケア病棟を開設している。
  - ・収支は納税により阿蘇市の財政にも貢献している。
  - ・阿蘇地域の雇用にも貢献している。

民間の経営努力で、住民に必要な医療を維持している  
病床は阿蘇地域医療構想の方向性に呼応している  
客観的な指標として病院機能評価の合格は、阿蘇では当院が最初、  
県内でも指折りの早さであった 今後も継続する